



新潟県の道路

新潟県みちづくり計画

基本方針

3

地域が繋がる
【円滑な交通確保】

渋滞や事故対策などを目的とした拡幅（バイパス含む）事業や、中山間地域での1.5車線の整備を進め、道路ネットワークの機能強化を図ります。

さらに、社会情勢の変化等を踏まえ、都市計画道路の見直しを含めた道路ネットワークの適正な配置に努め、快適な日常生活を実現するための道路整備を進めます。

円滑な道路交通の確保と道路ネットワークの強化

バイパス整備による道路ネットワーク強化



都市計画道路 黒井藤野新田線

国道8号や18号の渋滞区間を経由せず北陸自動車道
上越ICから周辺の工業地帯や直江津港へアクセスが可
能になり、物流の円滑化を目的とした道路です。



道路改良による効果



整備前
道路線形が悪く、十分な視
距が確保されていない

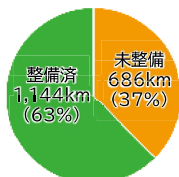


整備後
道路改良により安心して
通れる道路に



■都市計画道路の整備について

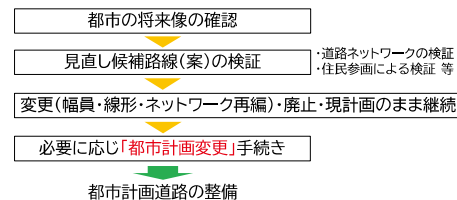
都市計画道路は、都市における円滑な移動の確保等の
ため、都市計画法に基づき定められた道路です。
未整備の路線について、都市計画道路の見直しの結果等
をふまえ、着実に整備を推進します。



新潟県内の都市計画道路の整備状況
(R7.3.31時点)

都市計画道路の見直しとは

市町村が主体となり、都市の将来像の実現に向けて、
社会情勢の変化等を踏まえた見直しを行っています。
交通・都市防災機能の評価や住民参画による検証を
行い、変更が必要と判断した路線については、都市計
画の変更・廃止手続きを進めています。



新潟県の道路

新潟県みちづくり計画

基本方針

4

全国と繋がる
【拠点性の向上】

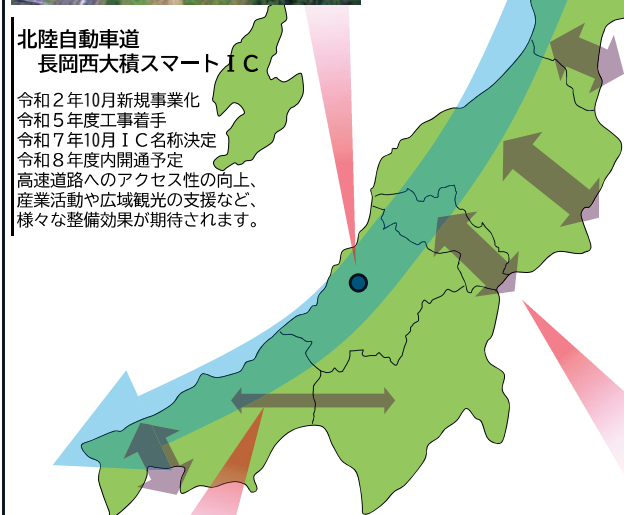
県内外をつなぎ、物流の効率化や観光・交流の促進にも
つながる高速道路等の整備など、更なる拠点性向上に向けた
交通ネットワークの整備を進めていきます。

幹線道路の整備や機能強化



北陸自動車道 長岡西大積スマートIC

令和2年10月新規事業化
令和5年度工事着手
令和7年10月IC名称決定
令和8年度内開通予定
高速道路へのアクセス性の向上、
産業活動や広域観光の支援など、
様々な整備効果が期待されます。



事業中区分



供用済区分



上越魚沼地域振興快速道路 三和安塚道路

上越市・十日町市・南魚沼市を結び、
高速道路とともに信頼性の高い道路
ネットワークを形成する「上越魚沼
地域振興快速道路」のうち、三和IC
(仮称)～安塚ICは「三和安塚
道路」として整備中です。
なお、浦川原IC～安塚ICは平成
22年3月に供用しています。



日本海沿岸東北自動車道 朝日温海道路

新潟県・山形県・秋田県の主要都市を結び
青森県に至る「日本海沿岸東北自動車道」
のうち、新潟・山形県境の朝日まほろばIC
～あつみ温泉ICは「朝日温海道路」
として整備中です。



国道289号 八十里越

国道289号のうち、新潟県三条市～
福島県只見町に至る区間は「八十里越」
と呼ばれ、一般車両は通行不能となっ
ています。現在、通行不能解消に向け整備
を進めています。